



雀だより

第56号

チュンチュン

雀宮の魅力を発信!



令和2年度 雀宮地域文化祭が開催されました。 11/7(土)、8(日)



11月7日・8日の両日、午前9時から午後2時まで、雀宮地区市民センターにおいて、『令和2年度雀宮地域文化祭』が開催されました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、屋内外のアトラクションや模擬店等は中止とし、日頃の学習や活動の成果を発表する作品展のみの開催となりました。

当日会場には、地域の団体や学校、生涯学習センター利用団体などから絵画・書道・手工芸品など、多くの素晴らしい作品が出品され、両日合わせて400人ほどのお客様で賑わいました。

実行委員会の稲葉会長は、「コロナ禍で多くのイベントや行事が中止となる中、開催には不安もありましたが、作品展のみの開催

にも関わらず思いのほかたくさんのお客様にご来場いただき、感謝の思いでいっぱいです。今後とも地域のイベントについては、感染拡大防止に留意しながら、できる限り開催していこうと考えております」と話していました。



もくじ

- われら雀っ子 ~WE LOVE 雀宮~「雀宮東小学校」 ②
- 地域の皆さんの活動を紹介! 雀アラカルト ③
- 地域からのお知らせ ④
- 雀宮の歴史・史跡コーナー (雀の宮2丁目の観音堂) ④



雀だより「チュンチュン」は年3回発行します

雀宮地区の各学校の地域にかかわる活動をご紹介します！

のみどり活動

雀宮東小学校の地区は、農村地区と団地や新興住宅街に分かれた広い地区です。農家は三世代で生活している家庭が多く、地域の学校教育への関心も高く、PTA活動にも熱心で協力的です。



田植え

本校独自の取組として、学校西側の休耕田を借り受け、地域の農家の皆様を始めとする「のみどり隊」やPTAの方々の協力を得て、種まき・田植え・稲刈り・脱穀などのお米作りを全校活動(のみどり活動)で行っています。

また、収穫したお米で餅をつき、繭玉を作ってどんど焼きを行うなど、地域の理解と協力のもとに、伝統行事を受け継いで実施しています。

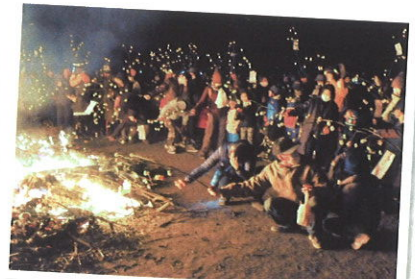
雀宮東小学校



稲刈り



繭玉作り



どんど焼き

高齢者との交流授業



むかし遊び

本校では、例年雀宮地区老人クラブ連絡協議会(雀老連)の皆様にご協力をいただき、各学年ごとに「むかし遊び」「手作りすいとんやぼうじぼ作り」などの体験授業や、社会科での「昔の生活道具」「戦争中の人々の暮らし」についての講話など、高齢者との様々な交流授業を実施し、伝統文化の伝承や世代間の交流に力を入れています。



ぼうじぼ作り



すいとん作り



社会科での講話

雀宮神社秋の大祭

10/18
日

七五三ご祈祷

11/15
日

10月18日(日)、雀宮神社にて恒例の「秋の大祭」が執り行われました。
今年には境内の綾女稲荷神社に新たな鳥居が竣工したことで、朱色の見事な鳥居が4基となり、稲荷神社にふさわしい様式となりました。今年の秋の大祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「福もち配り」「奉納舞い」などを取りやめて神事のみを行い、今年の収穫を神に感謝するとともに、来年の五穀豊穡や地域の皆様の安寧、及び農業・商工業の更なる隆盛を祈願しました。



また、11月15日(日)には七五三のご祈祷が行われました。
今年も昨年と同じ6組の家族の申し込みがあり、きちんと盛装した子供さんとともに昇殿し、郷社雀宮神社の神に我が子、我が孫のすこやかな成長を祈願していました。



健康マージャン交流大会を開催（ちゅんちゅんさわやかスポーツクラブ）

10/22
木



ちゅんちゅんさわやかスポーツクラブ・雀宮は、平成26年10月に雀宮体育館で開催された「ねりりんピック健康マージャン大会」を記念して、10月22日に第7回健康マージャン大会を雀宮地区市民センター南館で開催しました。

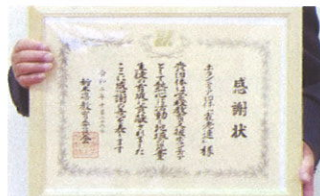
今回は新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数を絞りフェイスシールドとマスクをして行いました。表彰式は外で行い優勝者にはお米5キロ、賞に漏れた方には参加賞として梨が贈られました。

栃木県教育委員会より雀老連に感謝状が贈られました。

10/26
月



雀老連（雀宮地区老人クラブ連絡協議会、松田一郎会長）の長年の「学校支援ボランティア」活動に対し、令和2年10月26日(月)、栃木県公館大会議室にて栃木県教育委員会より感謝状が授与されました。



これは雀老連が雀宮東小学校の子供たちと、「手作りすいとんやぼうじぼ作り」「お手玉・福笑い・はねつき・けんだま・あやとり・竹とんぼ等のむかし遊び」「昔の生活の道具」及び「戦争中の人々の暮らし」などの体験授業や講話などを通して、交流を深めてきたことが評価されたとのことです。感謝状を受け取った松田会長（写真）は、「今後ともこのボランティア活動をさらに充実していきたいと思っております。このような活動等に興味のある方やご協力をいただける方は、各老人クラブ会長までご連絡いただきたい」と話していました。

が評価されたとのことです。感謝状を受け取った松田会長（写真）は、「今後ともこのボランティア活動をさらに充実していきたいと思っております。このような活動等に興味のある方やご協力をいただける方は、各老人クラブ会長までご連絡いただきたい」と話していました。

雀宮中学校の生徒及び地域の有志が清掃活動を行いました。

11/7
土



令和2年11月7日(土)朝7時30分から、雀宮中学校の3年生85人と教員・保護者、ボランティアグループすずめ、雀宮地区まちづくり協議会、地区婦人会、雀宮交番、地元消防団などの有志が参加して「地域清掃」が行われました。

参加者たちは6班に分かれ、雀宮児童公園、国道4号線、雀宮地区市民センター周辺道路、及び新幹線の高架下などのごみ拾いや除草・落ち葉掃きを行いました。

約1時間ほどで作業が終了し、地区市民センターに運び込まれたごみ袋は50袋以上になりました。参加した雀宮中3年生の半田太陽君は、「今回の地域清掃は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、3年生にとっては最後のボランティア活動でした。みなさんのおかげで、雀宮地区がきれいになりました。参加して下さった全てのみなさんに感謝したいと思います」と話していました。



令和2年度 主要イベント(令和3年1月~3月)

1/10日 宇都宮市成人式雀宮中学校区
(ホテルニューイタヤ)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、延期または中止になる場合があります。



開催中止 ●2月 チュンチュン子どもフェスタ
●3月 雀宮学校音楽祭

地域で活躍している団体を紹介します

「雀宮愛鳥会」

雀宮の西方にある針ヶ谷町は姿川、新川の支流や林もあり、自然に恵まれた地域です。

ここに、カワセミなどの留鳥や、季節に応じた様々な野鳥が飛来しますが、10年以上前から、当自治会会員の斎藤氏が野鳥の写真を撮り始め、その写真の素晴らしさ、技術に魅せられて、氏の教えを受けながら少しずつ同好の士が集まりました。個人が思い思いに撮った写真を見せ合ったり、撮影の情報交換をしたりする程度の集まりでしたが、令和元年の雀宮地域文化祭に出品することになり、「雀宮愛鳥会」という名称を付けました。

小鳥と自然が相手ですので、大勢で撮影に押し寄せたり、驚かせたり、餌付けしたりなど鳥撮りのマナーに反する行為は厳に謹んでいます。また、散歩の方々の邪魔をしないように、互いに気を付けながら撮影を楽しんでいます。

現在会員は5名ほどで、針ヶ谷中公民館において、1~2ヶ月ごとに撮影した写真を交換し、常時展示をしています。あくまでも自然発生的な集まりのため、メンバー募集などは行っておりませんが、折を見て地域の文化祭や公共施設のギャラリー、及び地域のホームページなどで野鳥の写真を公開していきたいと思っていますので、その際はご覧いただければ幸いです。

【針ヶ谷中自治会長 布野俊一】



歴史ある雀宮地区の史跡などを紹介するコーナーです。

雀宮の歴史・史跡 16 雀の宮2丁目の観音堂

旧雀宮宿上の木戸跡「国道4号線」を西に約20メートル入ったところに、銅板葺きの屋根・白木造りの「観音堂」がある。お堂の規模は4~5坪位の高床式のもので、昔は茅葺の屋根だったが、茅不足のため昭和年代にトタン屋根に葺き替えられた。更に建物も老朽化したので、平成年代に管理者の篠原さんが私財を投じて、立派な銅板葺きの屋根のお堂に改装された。

観音堂の中には金色に輝く5体の仏像が安置されている。中央と左に「如意輪観音」、右に「聖観音」、そして前に小さい観音が2体祀られている。

このお堂は雀の宮2丁目の篠原家が代々堂持ちとして仏像を大切に守護してきた。縁日は毎年8月9日とされ、昔は屋台など店が並び、提灯がいくつも下げられ賑わったといわれる。

【雀宮郷土史研究会】



観音堂外観



観音像(観音堂内部)

広告募集

「雀だよりチュンチュン」は地域情報紙として、地区内の自治会加入全世帯に配布されています。

この広報紙に、広告記事を掲載しませんか。広告料、応募手続きについては、雀宮地区まちづくり推進協議会事務局 (TEL028-654-1013) までお問い合わせください。

雀宮地区の人口

(令和2年12月1日現在)

人口 41,233人

男性 20,540人

女性 20,693人

世帯数 17,211世帯

編集・発行

雀宮地区まちづくり推進協議会
(雀宮地区市民センター内)

〒321-0133 宇都宮市新富町9番4号

Mail
u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp

TEL 654-1013 FAX 653-5646